

名古屋大学大学院情報学研究科 研究員 公募要領

1	募 集 件 名	研究員の公募	
2	募 集 者 の 名 称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	大学院情報学研究科 心理・認知科学専攻 川合研究室 研究室の URL : www.cog.human.nagoya-u.ac.jp/~kawai/	
4	募 集 内 容	[職務内容（業務内容）] （雇入れ直後） 「感覚統合による空間識・重力覚の理解と仮想感覚の創出」に関する研究（担当：川合伸幸）の一環として、視覚や前庭感覚情報を操作し、行動や生理反応を測定することで、空間識失調やその背景にあるメカニズムを解明する研究およびそのための並進加速装置などの制御 ＜募集の背景、プロジェクトの説明＞ JST CREST マルチセンシング領域 研究課題「空間識の幾何による重力覚解明と感覚拡張世界創出」 https://projectdb.jst.go.jp/grant/JST-PROJECT-22717224/ （変更の範囲） ・東海国立大学機構が指定する業務 [勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区不老町 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所 [募集人員] 研究員・1名 [着任時期] 2026年7月1日以降のできるだけ早い時期	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	心理学
		小分類	認知科学、実験心理学
6	勤 務 形 態	常勤（任期付） 契約期間：期間の定めあり（採用日から2027年3月31日まで） 契約の更新可能性：有（契約満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、法人の経営状況、従事している業務の進捗状況・プロジェクトの継続の有無・予算状況等により判断） 通算契約期間：最長2028年3月31日まで	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士号を有する者、または、学位の有無に関わらず、本プロジェクトの遂行にあたり十分な経験や能力・実績等を有する方 ・実験心理学、認知科学、工学、神経科学分野に精通している者 ・心理学、神経科学、認知科学などの分野にも興味があり、かつ研究室内外の共同研究者と協調して研究に取り組んでいただける方を歓迎する。	
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html	

		・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程において定める年俸制を適用しする。(およそ月額 36 万円を想定。ただし標準的な研究員の一例であり、変動する可能性がある。) https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110000191.html ・専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分働いたものとみなされます。 ・休日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始及び夏季一斉休業日 ・文部科学省共済組合（健康保険、厚生年金）、雇用保険、労働災害保険に加入 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応 募 期 間	2026 年 4 月 30 日まで。適任者が決まり次第、募集を終了します。
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法、書類送付先] 1. 履歴書（写真貼付、連絡先明記（電子メール、電話）、様式自由） 2. 研究業績リスト（論文・学会発表・受賞）（様式自由） 3. 類型該当性の自己申告書（様式 1） ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」（様式 1）の提出が必要となります。様式 1 は以下の URL から取得してください。 URL：https://www.i.nagoya-u.ac.jp/resume/ また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 以上の書類を、応募期間内（必着）に郵送にて提出下さい。 封筒に「研究員応募書類在中」と朱書きして下さい。 送付先； 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院情報学研究科 心理・認知科学専攻 教授 川合 伸幸 Tel：052-789-5179 E-mail：kawai[at]is.nagoya-u.ac.jp [選考内容（選考方法、採否の決定）] ・書類選考の上、面接を実施。 ・面接実施者については、メール又は電話で連絡を行う。
11	そ の 他	・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。

	・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダー・ダイバーシティセンター Web サイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロギング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言：https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
--	---